

必ずお読みください 公認ファシリテーター養成講座受講検討のみなさまへ

この度は、カードゲーム「SDGs de 地方創生」の公認ファシリテーター養成講座へのお申し込みをご検討いただきありがとうございます。

本ご案内は、受講を申し込まれるみなさまが、実際に「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーターとなり、日本の各地域が抱える課題の解決の一助として活用される資格として有用かご判断いただきたくまとめさせていただきました。

大切なお知らせになりますゆえ、長文ですが必ずご一読くださいませ。

目次

- 1 | カードゲーム「SDGs de 地方創生」の開発背景
- 2 | ゲーム開発において大事にしている考え方
- 3 | 公認ファシリテーターになるプロセス
- 4 | レンタル制のカードキットについて
- 5 | 費用について
- 6 | Facebook アカウントについて
- 7 | 最後に

1 | カードゲーム「SDGs de 地方創生」の開発背景

「SDGs de 地方創生」は、特定非営利活動法人イシュープラスデザインと、株式会社プロジェクトデザインの協働で開発した、人口減少が進む日本の各地域が抱える課題とその解決方法を理解し、地方創生の現場で必要な対話と協働の重要性を体感的に学んでいただけるコミュニケーションツールです。

1年間強の開発期間と複数回のテストプレイを経て完成した本プログラムは、全国各地の公認ファシリテーターによって、たくさんの体験の場が生まれるモデルへと成長しています。

同プログラムが様々な地域で活かされている現況を、持続可能なものになりたい。公認ファシリテーターのみなさまと協力しながら、気づきの示唆や、熱狂を生みだし、各地域で体験が活かされる、地域の活性化に役立てるよう、さらに成長させたい。このように今強く考えている次第です。

2 | ゲーム開発において大事にしている考え方

ゲーム開発において大事にした点は以下の2点です。

1. 現実世界を可能な限り模してつくること
2. 現実の厳しさを感じるだけでなく、可能性も同時に感じられるようにすること

1 は、このゲームは”正しい世界の在り方を教える”のではなく、自由な行動で楽しく学べるゲームだ、ということです。現実の世界で起こり得る最悪のシナリオから最高のシナリオまで、ゲームでは様々なシナリオが起きるよう設計されています。楽しく学ぶ、ということは、人が興味を持ち続ける上で極めて重要な要素です。特に大人の学習においては正解を伝えることはあまり効果的ではなく、自由に行動した上で、その行動を振り返ることが効果的だと言われています。

2 は、実際に変革を実現するために重要なあり方であると考えています。多様な人が参加されるゲームの場では、通常、場にポジティブな創造と変革のエネルギーが充満し、熱狂が生まれるようファシリテーションします。ゲーム終了時に「現実はやっぱり厳しい。ムリだ」と感じて諦観するよりも「もしかしたらやれるかもしれない」と希望を感じていただくことで、社会をより良い方向に変える力が湧く、と考えているからです。

本ゲームの開発過程で、北海道で行われたテストプレイに参加された方からこのような言葉をいただきました。

「人口減少が続き、日々廃れていく自分の故郷と比較して、あまりにこのゲームは地方の未来に対して、楽観視しているような気がした。」

その言葉をいただいたとき、ファシリテーターとしての運営は厳しくなるかもしれませんが、日本が抱える厳しさが感じられる現実に近い難しさのゲームにすべきだと思い直し、ゲームの展開によっては、ときに望まない未来が出現することもあり得る、という難易度に再調整した経緯があります。

そうした場でもファシリテーターの「場を創造する力」が掛け算されることによって、希望が感じられ、深い示唆が得られる、そんな学びの場に本ゲームが機能すべき、と考えるに至りました。ゲームと、ゲームを用いるファシリテーターの思い、この両者が揃ってはじめてワークショップとして成り立つよう、本ゲームはデザインされています。

3 | 公認ファシリテーターになるプロセス

養成講座を修了すると、「仮免許」の状態となります。公認資格を取得するために、運営事務局主催や、公認ファシリテーターが頻繁に開催しているオープンイベントに（養成講座から可能な限り時間を置かず）身近な場で、運営サポートや共同運営などを行ってください。

具体的には、カードさばき、準備・撤収、サブファシリテーションなどを最低1回行っていただきます。ご自身が企画したイベントに、公認ファシリテーターを呼ぶことで体験の場とすることも可能です。

その後、事務局にご連絡いただけましたら、晴れて公認となります。共に地方創生を実現する仲間としてご活躍くださいませ。

4 | レンタル制のカードキットについて

カードキットは「レンタル制」となります。「レンタル」の考え方ですが、ゲーム都度貸出しをする、ということではなく、資格取得後、みなさまにお預けしておく、という考え方となります。

好きなタイミングで積極的にご活用いただきたく思いますが、未来に向けて活動を休止される場合には、カードキットを事務局宛にご返却いただきますよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

5 | 費用について

「SDGs de 地方創生」を活用するためには、大きく3種類の費用が必要となります。

- 1) ファシリテーターになるための「ライセンス取得費用」
- 2) 次世代の育成に役立てる「YOUTH 支援寄付」
- 3) 売り上げが発生する有料開催に必要な「利用フィー」

1) ファシリテーターになるための「ライセンス取得費用」

ほぼ丸一日を費やして、公認ファシリテーター養成講座を受講・修了されることで、ファシリテーターとしてカードキットを使うことができる準備を整えていただきます（上述の通り、受講後、運営サポートや共同運営を現場で最低一回経験したのちに公認となります）。

本養成講座への参加に、「ライセンス取得費用」として132,000円（税率10%込）の費用がかかります。

2) 次世代の育成に役立てる「YOUTH 支援寄付」

SDGs de 地方創生カードゲームは、こどもからご年配の方まで幅広く楽しんでいただき、学びを持ち帰りいただけるワークショップです。2019年にスタートし、全国各地に1000名近いファシリテーター仲間ができました（2021年11月現在）。より多くの方に届けるため、未来を担う次世代のファシリテーター育成に役立てる「YOUTH 支援寄付」を導入しています。

ファシリテーター活動を行っていただくにあたり、寄付制度に加入していただくことをライセンス付与条件とさせていただきます。皆様の寄付で次世代のファシリテーターが増え、日本全国で熱い場が生まれることを目指しています。

<初年度費用>

ライセンス取得費用 132,000 円

YOUTH 支援寄付 月額 1,000 円*12 ヶ月 (毎月払い)

*2 年目以降は、YOUTH 支援寄付部分のみ、毎月継続される形になります。

寄付制度にご加入いただく皆様には、以下の寄付特典をご用意しています。

- ・『SDGs de 地方創生』プログラムの有料での開催権利
- ・公式ホームページでのプロフィール紹介
- ・公式ホームページでのイベント紹介 (紹介は有料開催のイベントに限る)
- ・運営資料の継続提供
- ・事務局主催イベントへの優待価格での参加
- ・紛失したカードの補填 (実費負担あり)

使途は定期的にSDGs de 地方創生公認ファシリテーターFacebookグループで報告いたします。

3) 売上げが発生する有料開催に必要な「利用フィー」

公認ファシリテーターが開催する体験会の「参加費」に関しては、有料・無料を問わず自由に設定いただくことが可能です。有料の場合、金額に関しても指定はなく自由に設定していただいて構いません。

ただし、売上げ・謝礼が実施 1 回につき 50,000 円以上の場合は、事務局にご報告いただきゲームキット利用フィーとして 20%お支払いいただきます。

(「総売上金額」は、企業や団体といったクライアントワークなどの受注金額の総額になります。受注金額に旅費交通費相当分等が含まれる場合でも総額が対象となります。また、参加者から参加費用を徴収するオープン開催の場合は、参加費の合計総額が対象となります。)

総売上の掛け率については「書籍等の著作物における著作権は売上の一定割合で、著作権料を除く 80% で経費や運営者側利益を捻出する」考え方を、経済的に持続可能な運営モデルとして考え設定しております。あらかじめご理解ください。

研修の一部でコンテンツを活用する場合、全体時間のうち「SDGs de 地方創生」該当時間数で金額を算出ください。(例 「6 時間の研修を 10 万円で受託、そのうち SDGs de 地方創生を 3 時間実施した場合」該当する売上げは、5 万円となりその 20%にあたる 1 万円を利用フィーとなります)

コンサルティング契約など一式契約で算出が難しい場合、SDGs de 地方創生実施一回あたりの利用フィーの定価を 5 万円とします。

なお、受注金額が低く、捻出が難しい場合には個別にご相談ください。(総売上金額が 5 万円未満の場合、利用フィーは発生しません)

6 | Facebook アカウントについて

このゲームのコンセプトの1つでもありますが、「人と人が繋がること」「対話と協働を行うこと」が地方創生の実現に向けた一歩だと考えています。公認ファシリテーターになるみなさまにも、ファシリテーター同士が繋がり、自分の想いや知見を共有することで、地方創生の実現に近づけていただきたいと考えています。それを実現する仕組として、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)のFacebookを活用し、SDGs de 地方創生公認ファシリテーターグループを用意しています。

このグループでは、ファシリテーターそれぞれが、ゲームを実践した知見をシェアしたり、悩み相談や仮免許サポートの募集等、様々な情報交換が日々行われています。実際に先輩公認ファシリテーターからも「とても良質なコミュニティがSDGs de 地方創生の魅力」と好評を博しているおり、みなさまが活動される際に、きっとお役に立てることと思います。

上記のスタンスから、SDGs de 地方創生では、Facebook アカウントの共有を必須としております。お持ちでない方は申し込み前にアカウント登録をお願いいたします。公私を分けるなどして既存のアカウントを利用したくない方や、会社等の都合でSNSを利用できない方は、登録名をアレンジいただくなどして、このコミュニティ専用で作成いただくなど、ご対応よろしくお願いたします。

7 | 最後に

ファシリテーター養成講座は丸一日かけて行います。「人前に立って話す」というトレーニングに時間を割くのではなく、ゲーム及び、ゲームと合わせて使う様々なツールの効果的な使い方を学んでいただくために時間を割きたいと考えています。

さらには、ゲームをより深く理解するために、ゲームがどのような思想・構造で作られているのか、参加者が陥りがちな行動のパターンは何か、といったノウハウについてもお話しさせていただきます。

- 1 自己紹介 (チェックイン)
- 2 制作の背景、地方創生に盛り込んだ思い
- 3 ゲーム型研修の効果を最大限引き出すために
- 4 SDGs イシューマップについて
- 5 ライセンスについて
- 6 カード準備と初期配布
- 7 ルール説明&デモンストレーション
- 8 チェックアウト&参加者同士(同期)のネットワーキング

盛りだくさんの内容ではありますが、私たちが1年以上の期間と多数のテストプレイ、たくさんの公認ファシリテーター輩出を通じて完成させてきた講座です。本講座を通して、信頼できる仲間がまた全国に増えていただくこと、何より嬉しく思っています。

今も昔も、世界には様々な課題があります。一方、それらの課題は志を持ったみなさんのような方々の「創造力と行動力」によって解決されるとも信じています。

日本の各地域に思いを馳せるものとして、みなさまとともに日本の真の地方創生に向けた活動に取り組めることを心から感謝いたします。

みなさまとお会いする日を心から楽しみにしています。

2021年12月吉日

特定非営利活動法人イシュープラスデザイン